

3 教育課程の位置付け

性に関する指導は、教科や特別活動をはじめ、教育活動全体を通して適切に行われるものです。

性に関する指導を行うにあたっては、各学校の教育目標に照らして、自校における目標を設定し、各教科、特別の教科道徳、総合的な学習の時間及び特別活動などの教育活動全体を通して行われるものです。その内容については、学習指導要領に基づいて行われるべきものであり、小・中・義務教育学校・高等学校12年間を見通して実施されるよう意図的、計画的に行うことが大切です。

従って、各教科や特別の教科道徳、特別活動等において、性に関する指導に関連する内容を整理し、全教職員で共通理解を図って指導にあたる必要があります。

①各教科における位置付け

体育・保健体育科を中心に、理科、社会科、生活科、家庭科等に性に関する指導に関わる内容があります。各教科にはそれぞれの教科の特性に応じたねらいや指導内容があるため、性に関する指導の視点からねらいや指導内容を検討し、適切に位置付けます。

【例：体育・保健体育科における性に関する指導の内容】

小学校	中学校	高等学校
体の発育発達 (イ)思春期の体の変化	心身の機能の発達と 心の健康 (イ)生殖に関わる機能 の成熟	生涯を通じる健康 (ア)生涯の各段階にお ける健康 ②思春期と健康 ①結婚生活と健康
病気の予防 (イ)病原体が主な要因 となって起こる病 気の予防	健康な生活と疾病の予防 (イ)感染症の予防	現代社会と健康 (イ)現代の感染症とそ の予防

②特別の教科道徳における位置付け

生命尊重、男女の協力をはじめ、多くの内容に性に関する指導に関わる内容があります。道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成を図りながら、性に関する指導の視点を加え発展的に指導にあたります。

③特別活動（学級活動・ホームルーム活動）における位置付け

特別活動は、各教科における指導との関連を図りながら、心の発育・発達、性情報への対応や性の逸脱行動に関すること等の題材を設定し、具体的な実践力を育てていきます。従って、各教科で学習する内容と学校や地域の実態を踏まえ、指導内容を検討し、位置付けるようにします。

特に思春期の心と体の発達や性については、個々の生徒の発達の段階や置かれた状況の差異が大きいことから、集団指導と個別指導の内容を整理し、計画性をもって実施することが大切です。

【例：特別活動（学級活動・LHR）における性に関する指導の内容】

小学校	中学校	高等学校
(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の育成	(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 イ 男女相互の理解と協力 ウ 思春期の不安や悩みの解消、性的な発達への対応	(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 イ 男女相互の理解と協力

④総合的な学習の時間との関連

総合的な学習の時間は、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の生き方を考えます。性に関する指導は、性を通して人間の生き方を学ぶものであり、総合的な学習において、「性」や「生命」と関連付けながら、生き方について学習することができます。